



目次 Contents

- | | |
|---|------------------------|
| 3 人権の花運動 | 18 国民年金だより |
| 4 ブロック塀等撤去費補助制度 | 19 農業委員会だより |
| 5 中小企業者等を対象とした補助金・奨励金 | 20 図書館だより |
| 6 Shimotsuke-City Topics まちの話題 | 22 新・下野市風土記 |
| 8  環境トピック | 23 生涯学習だより |
| 10 敬老会のご案内 | 24 Let's SPORTS |
| 12 保健だより  Health Information | 27 暮らしの情報 |
| 15 障がい福祉瓦版 | 42 8月のカレンダー |
| 16 地域おこし協力隊通信 | 43 国際交流員カロリンのコラム |
| 17 下野市観光フォトコンテスト | 44 イベントカレンダー |

今月の表紙

しもつけ燈桜会2019（とうおうえ）

表紙は、「しもつけ燈桜会」をイメージするために、奈良県の「なら燈花会」の灯籠を点灯した様子と、天平の丘公園を見渡せる国見山の写真を合成したポスターです。

8月23日(金)から25日(日)にかけて、天平の丘公園で「しもつけ燈桜会」を開催します。約1300年前の国分寺で行われていたという、燈を灯して人々の幸せを祈る法会を現代風にアレンジしたもので、

下野市が全国に誇る天平の丘公園の桜にちなんで「桜」の名がつけられました。

古民家カフェ夜明け前周辺で4,000個の灯籠にろうソクを灯します。国見山の頂上にある百日紅（さるすべり）は、夏になるとピンクの鮮やかな花を咲かせ、夏桜と称するにふさわしい美しさです。当日は、表紙のような幻想的な景色がご覧いただけますので、ぜひお越しください。

今月の何の日

8月21日 献血の日

1964年のこの日、輸血用血液を献血によって確保することが閣議決定されたことに由来しています。

当時、輸血用の血液は、献血ではなく売血でまかなわれていました。1952年に設立された日本赤十字社血液銀行（現在の赤十字血液センター）は血液の無償提供を呼びかけましたが、同時期に日本各地で設立された民間の商業血液銀行が血液の買い取りを行った結果、1963年の時点で、輸血用血液のうち献血由来のものはわずか2%程度しかありませんでした。

有償で提供された血液には、金銭目的で短期間のうちに売血を繰り返す提供者のものが多く、これらの血液は輸血の効果が薄いことがありました。

このような問題を解決するために閣議決定が行

われ、10年間のうちに、日本の輸血用血液は100%献血由来となりました。

現在、日本では、1日に約3,000人の人々が輸血を受けているといわれています。輸血というと、手術で血液が足りなくなったときに使われるというイメージがあるかもしれませんが、それだけではなく、血液の病気やがんなどの治療を受けている人々のためにも使われています。患者さんだけでなく、その家族にとっても、献血は大切な命の贈りものです。

輸血用の血液製剤のなかには有効期間が4日間しかないものもあり、継続した献血への協力が必要です。特に、お盆休みなどの長期休暇の時期には、献血者が減少しがちです。この日をきっかけに、あらためて献血について考えてみませんか。

■人口と世帯（7月1日現在）

人口/60,124人 (+2)、男性/29,833人 (+11)、女性/30,291人 (-9)、世帯数/24,172世帯 (+17)

下野市公式
ツイッター

市ではホームページの最新情報や、災害発生時の避難場所などの情報配信を行います。右のQRコードからアクセスできます。

下野市公式アカウント @city_shimotsuke

